

平成 28 年度第 1 回遠野市総合計画審議会 — 議事概要 —

(開催要領)

- 1 日時 平成 28 年 8 月 3 日 (水) 午前 10 時～11 時 50 分
- 2 場所 あえりあ遠野 交流ホール さくら
- 3 出席者

(1) 委員

会長	臼井 悦男	遠野市社会福祉協議会会長
副会長	三浦 芳昌	遠野市観光協会会長
委員	松田 克之	遠野市消防団団長
委員	千葉 和	NPO 法人遠野エコネット代表
委員	菊地セツ子	遠野市食生活改善推進員団体連絡協議会会長
委員	河野 好宣	遠野市体育協会会長
委員	菊池 一晃	遠野市民生児童委員協議会会長
委員	松田 希実	遠野市わらすっこ支援委員会副委員長
委員	菊池 一勇	花巻農業協同組合理事
委員	濱田平八郎	遠野地方森林組合代表理事組合長
委員	佐々木弘志	遠野商工会長
委員	菊池都代子	遠野市校長会副会長
委員	菊池 光	遠野市 P T A 連合会副会長
委員	佐々木國允	遠野市郷土芸能協議会会長
委員	菅沼 隆子	一般財団法人遠野市教育文化振興財団副理事長
委員	内館 充幸	遠野市区長連絡協議会会長
委員	海老 糸子	遠野市地域婦人団体協議会会長
委員	菊池 広樹	公募
委員	高宏 美鈴	公募
委員	菊池 陵太	公募
代理	四戸 克枝	岩手県県南広域振興局経営企画部企画推進課長
有識者	大沼 宗範	遠野ひまわり基金法律事務所弁護士
有識者	佐藤 由美	岩手銀行遠野支店長
有識者	細川 克也	岩手日報遠野支店

(2) 遠野市

本田 敏秋	市長
飛内 雅之	副市長
菊池 文正	経営企画部長
千田 孝喜	経営企画部まちづくり再生担当部長
荻野 優	総務部長
菊池 永菜	健康福祉部長
千葉 典子	健康福祉部健康づくり担当部長
大里 政純	産業振興部長
古川 憲	農林畜産部長
仁田 清巳	環境整備部長
佐藤 浩一	環境整備部プロジェクト担当部長
小向 孝子	遠野文化研究センター部長
小時田光行	消防本部消防長
鈴木 惣喜	市民センター所長兼宮守総合支所長
多田 博子	子育て総合支援センター所長

澤村 一行 教育部長
鈴木 英呂 経営企画部次長兼政策推進総括課長
石田 久男 経営企画部財政担当課長

4 欠席者

委員 千葉 純子 一般社団法人遠野市医師会会長
委員 小松 正真 一般社団法人遠野青年会議所理事長
委員 佐々木栄洋 公募
委員 鳥屋部恵児 公募
教育長 中濱 艶子

(議事次第)

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 出席者報告及び日程説明
- 5 副会長の互選について
- 6 報告
 - (1) 地域経営改革の取組について
 - (2) 魅力ある高校づくり応援事業について
 - (3) 市役所本庁舎整備事業について
- 7 審議
 - (1) 第1次遠野市総合計画後期基本計画(H23~27)まちづくり指標実績について
 - (2) 遠野スタイル創造・発展総合戦略の重要業績評価指数(KPI)について
- 8 その他
次回開催日程について
- 9 閉会

(配付資料)

- 1 次第、名簿
- 2 地域経営改革の取組について(報告資料No.1)
- 3 魅力ある高校づくり応援事業について(報告資料No.2)
- 4 市役所本庁舎整備事業について(報告資料No.3)
- 5 第1次遠野市総合計画後期基本計画(H23~27)まちづくり指標実績について(審議資料No.1)
- 6 遠野スタイル創造・発展総合戦略の重要業績評価指数(KPI)について(審議資料No.2)
- 7 地方創生講演会「ごちゃまぜの力」(チラシ)
- 8 遠野文化フォーラム『遠野物語』の新時代(チラシ)
- 9 道・ネットワークシンポジウム「太い絆と命の道がつなぐ地方創生」(チラシ)
- 10 成功するまで失敗し続けた男たち、奇跡のフォーラム(チラシ)
*7から10は、当日配布。

(議事概要)

1 開会

○菊池文正 経営企画部長

おはようございます。本日は、お忙しいところ、御出席いただきまして、ありがとうございます。

ただ今から、平成 28 年度第 1 回遠野市総合計画審議会を開催いたします。私は、経営企画部長の菊池と申します。よろしくお願いいたします。

はじめに、遠野市長からご挨拶を申し上げます。

2 市長あいさつ

○本田敏秋 遠野市長

おはようございます。今日は8月3日となりました。盛岡市では、さんさ踊りが大変なにぎわいとのことですが、遠野市も負けずに多くの観光客が訪れています。思いやりとおもてなしの中から、多くの観光客の方々に、遠野の誇るべき地域資源等について、短い夏ではありますが、存分に楽しんでいただいているものと思います。多くの市民の皆さまの対応により、遠野の魅力を発信できていると思います。あらためて、この場をお借りして、皆さまに御礼と感謝申し上げ、この勢いを、夏が終わり、遠野の最大のイベントであります日本のふるさと遠野まつりにつないで、10月1日には46年振りの岩手国体に入っていきたいと思います。

平成 28 年度もすでに4カ月が経過しましたが、今年度は重要な年度であります。キーワードとして「これまでの10年、これからの10年」をよく使っております。合併して10年間、皆さまから大変なご指導とご理解をいただきながら、様々な合併に伴う課題に取り組んでまいりました。土地改良区の統合、保育行政の一元化にも取り組みました。子育てするなら遠野として、総合計画審議会に子育て環境のあり方について諮問し、臼井会長に大変な御尽力をいただきまして、委員の皆さまから一元化を進めるべきとの力強い答申をいただき、今年の4月から遠野の幼児保育行政は完全に一元化することができました。

また、様々な市政課題にも、なけなしの財源をやりくりしながら取り組んでまいりました。斎場、消防庁舎、給食センター、駅前再開発、本庁舎、中学校の再編など、これまでの10年を振り返りますと、委員の皆さまの、それぞれの立場からいただいたご支援とご尽力に、心から感謝申し上げます。

お陰様で、本庁舎も着々と工事が進み、来年の6月定例市議会は、新しい庁舎で、これからの10年の中における議論を展開できる環境も整います。

皆さまのご協力をいただき、これからの10年計画である第2次遠野市総合計画を策定することができました。

国が、地方創生の風を吹かせました。まち・ひと・しごと創生法において、本市は、遠野スタイル創造・発展総合戦略と位置づけまして、産官学金労言の団体から参画をいただき、戦略も策定することができました。また、10のプロジェクトも掲げ、簡単にはできませんが、一つひとつ形にしていこうと思っております。総合計画、総合戦略の中で、計画を持ったと言っても、それを形にするため先立つものは財源であります。そのため、第3次健全財政5カ年計画も併せて策定しました。この3つが揃い、4月を迎えました。

よって、平成28年度は、これからの10年に向けてのスタートダッシュと位置づけ、さまざまな課題に挑戦しているのが、今の状況です。

今日の総合計画審議会においては、これまでの取組の状況や、これからの取組の基本的方針を説明します。また、取り組まなければならない緊急を有する市政課題、少子化、雇用、六次産業、インバウンドなどの観光客や交流人口の拡大などの課題のため、総合計画を着実に推進するための若干の予算も計上しております。

タイミング、スピード感を持つ必要があります。5月には、台湾ミッションに本市の職員5人を派遣しました。観光、物産、文化を切り口に、台湾からの観光客を遠野ならではの受け入れ環境を整えたく派遣したところです。その結果については、200名程に報告したところです。

遠野市の人、伊能嘉矩。新渡戸稲造、後藤新平らとともに重なり、柳田國男先生も伊能嘉矩先生の取組に着目していました。来年は、伊能嘉矩先生の生誕150年であり、博物館で特別展

を開催することとしております。その他、明治三陸大津波の際に大変な活躍をされた山奈宗真もいます。そのことにより交流人口の拡大、遠野ならではの文化、人に着目をして受け皿の整備をと考えております。

また、20年以上交流を続けておりますチャタヌーガ市から、中高生の交流の実績を踏まえて、遠野市と友好関係を締結したいとの信書が届きました。教育文化振興財団と連携をとっております。また、日本の文化、遠野の文化として、日本のふるさと遠野まつりに招待したいと考えております。

日本のグリムとも言われる佐々木喜善との縁で、ドイツのシュタイナウ市との交流も、一つひとつ積み重ねて行きたいと思っております。

杉原千畝の奥様のお父さんが遠野出身であることから、一昨日、日本のリトアニア大使が遠野を訪れ、蔵の道広場に設置している顕彰碑をご覧になり、遠野市の取組への評価もいただきました。

第2ステージとしては、周辺市町村との連携ももちろんですが、東日本大震災からすでに5年4カ月が経過しました。過日、南海トラフ地震における遠野の役割を四万十町が果たすことができないだろうかと、高知県と四万十町長が遠野にお越しになりました。7、8月に入り、このような視察が全国から相次いでおります。そのようなことを踏まえれば、水平連携という市町村間の連携も遠野から発信し、様々な形で足らざるところを補い、特性を生かしあう、連携と交流が大きなキーワードになると思っております。

このように注目されるということは、市民の皆さまのお力が、評価につながっているものと思っております。

昨日、プライベートですが、東日本大震災の国が設置した復興会議の議長を務めた五百旗頭先生が、遠野に来られました。庁舎を無くした中で、市民から、何もそこまでしなくてもと言われなかったのかと聞かれました。少なくとも、私の耳に入っておりません、皆が、それぞれの立場で懸命に取り組んでくれましたと答えました。皆さんの行動が、遠野市の評価に大きくつながっています。それは、自慢であり誇りでもあります。その力をこれからの10年にきちんと位置付ければ、人口減少、消滅市町村は、まちがいなく跳ね返すことができます。

遠野市消防団第9分団第2部、これは上宮守地区ですが、県大会で優勝し全国大会に出場することとなりました。遠野市の消防団では、初の快挙です。

また、遠野中学校サッカー一部は、県大会で4連覇。10回目の優勝です。

遠野緑峰高校の生徒諸君も、発表会で数々の賞を総なめにし、表彰状を持って報告に来られました。まさに、自信と誇りに満ちておりました。そのような力があれば、高校再編問題も、皆さんと一緒に、これも跳ね除けることができる、いや、跳ね除けなければなりません。

市政課題を共有し、皆さまのお力添えで、課題に取り組んでまいりたいと思っております。

今日は、産官学金労言の金労言からも、オブザーバーとして、審議会に参加いただいております。総合力で取り組んでまいりたいと思っております。

昨日は、青笹7・8区に出向きました。7月30日には、上早瀬自治会に出向き、市長と語ろう会を開催しております。今回は、行政区、自治会単位で開催しております。現場ならでの、自治会ならではの市政課題が、浮き彫りになりました。給食費に関しても、大いに盛り上がりました。

市政を一つでも解決し前に進み、新たな遠野のまちづくりに踏み出してまいりたいと思っておりますので、繰り返しになりますが、皆さまのお力添えをお願いし、あいさつとさせていただきます。よろしくお願いいたします。

3 会長あいさつ

○菊池文正 経営企画部長

続きまして、臼井会長よりご挨拶をお願いいたします。

○臼井悦男 会長

皆様、ご苦労さまです。

この会の会長を仰せつかっております社会福祉協議会の臼井と申します。よろしくお願いいたします。

ます。

8月に入り、暑い日が続いており、もうすぐお盆になります。また、田んぼを見ますと、新しい穂も出て始めており期待ができるかと思えます。

市外の人と話をする、遠野市のまちづくりは、すごいねと言われます。そうだとすれば、それは、市民の一人ひとりの力によって遂げられているものだと思っております。その評価が、次に続く原動力になればと思っております。

本日は、報告事項3件、審議事項が2件となっております。委員の皆さまの熱心な議論をお願いし、あいさつとさせていただきます。よろしく申し上げます。

4 出席者報告及び日程説明

○菊池文正 経営企画部長

出席者の報告及び日程の説明についてです。

本日、委員の皆さま方の出席状況は、25名中、代理出席も含めまして21名の皆さまにご出席をいただいております。

ここで、各団体の役員改選等によりまして、新たに委員に委嘱した方々をご紹介申し上げます。

11番 遠野市観光協会会長 三浦芳昌 さん

14番 遠野市校長会副会長 菊池都代子 さん

15番 遠野市PTA連合会副会長 菊池光 さん

また、先ほど、市長から説明がありましたが、本日は3名の有識者の方々に出席していただいております。

市では、地方創生法に基づき、昨年11月に総合戦略を策定しましたが、産官学金労言の各分野の皆様から意見をいただき、策定したものです。本日は、市総合計画のまちづくり指標にあわせて、重要行政評価指数の議論も行いますので、この分野の委員にもご出席いただいております。

金融部門 岩手銀行遠野支店長 佐藤由美 さん

言論部門 岩手日報遠野支局長 細川克也 さん

労働部門 とおのひまわり基金弁護士 大沼宗範 さん

次に、市の出席者については、あらかじめ名簿に記載されておりますので、紹介は省略させていただきます。

なお、3月の臨時市議会で、新たな選任された副市長の飛内雅之です。

○飛内雅之 副市長

委員の皆さまとは、さまざまな場で何度もお会いしておりますが、改めて、市勢発展のために副市長の職をまっとうできるように努めてまいりますので、今後ともご指導ご協力をいただきますよう、よろしく申し上げます。

○菊池文正 経営企画部長

なお、教育長の中浜艶子は、公務のため欠席となっております。

次に、配付資料について、確認をお願いいたします。

本日の配付資料です。ひとつは、次第と名簿。二つ目が、報告資料 No. 1 地域経営改革の取組についてです。…（以下、配付資料の説明）。

以上が、本日の資料となっておりますが、不足等ございませんでしょうか。

それでは、この後、副会長の互選、そして、報告事項は25分程度、その後、審議事項を経て、終了時刻は午前11時50分ごろを目途とします。

それでは、これからの5の副会長の互選からは、進行を臼井会長にお願い申し上げたいと思います。よろしく申し上げます。

5 副会長の互選

○臼井悦男 会長

それでは、副会長の互選に入ります。

皆さん、ご承知のように遠野市観光協会会長の荒田委員が5月に逝去されました。謹んでご冥福をお祈りしたいと思います。

副会長の選出方法について、皆さんからご意見をちょうだいしたいと思います。

(事務局案をお願いします)

事務局案との声がありましたが、事務局から案を提示していただくことで、よろしいですか。

(はい)

それでは、事務局から案がありましたら説明願います。

○菊池文正 経営企画部長

事務局案としては、三浦委員にお願い申し上げたいと思います。

○臼井悦男 会長

それでは、皆さんにお諮りします。副会長に、三浦芳昌委員を互選により選出することで、ご異議ございませんか。

(異議なし)

それでは、異議なしと認め、副会長に三浦芳昌委員を選出することに決定します。

6 報告

(1) 地域経営改革の取組について

○臼井悦男 会長

それでは、次第6に入ります。3項目あります。

地域経営改革の取組について、説明をお願いします。

○鈴木英呂 経営企画部次長兼政策推進総括課長

*下記資料を説明(約11分)

・地域経営改革の取組について(報告資料No.1)

○臼井悦男 会長

ありがとうございました。報告事項ではありますが、質問等ございませんか。

○千葉和 委員

人づくりで、「(仮称)遠野スタイルわらすっこカレッジの展開」とありました。概要が決まっていたならば、イメージだけでも確認したいと思います。

○鈴木英呂 経営企画部次長兼政策推進総括課長

すでに教育委員会の事業として、他校との交流、世代間交流を進めておりますが、旧土淵中学校の施設で、みらい創りカレッジを活用するなどして、もっと拡大したいと考えております。

○高宏美鈴 委員

カタカナ語が多いと感じました。「アウトソーシング」とか「ホールディングカンパニー」とかありますので、分かりやすい言葉を使ってほしいと思います。

○鈴木英呂 経営企画部次長兼政策推進総括課長

気をつけながら進めたいと思います。

(2) 魅力ある高校づくり応援事業について

○臼井悦男 会長

続きまして、魅力ある高校づくり応援事業について、説明願います。

○澤村一行 教育部長

*下記資料を説明(約10分)

・魅力ある高校づくり応援事業について(報告資料No.2)

○臼井悦男 会長

ありがとうございました。ご意見、ご質問等ございませんか。

○菊池一勇 委員

大変重要な案件であり、市としては悩ましい案件だと思います。これは、県に属する案件ではありますが、資料によると約3分の1の生徒が、市外を希望している現実です。今回の取組で、どれだけの生徒が残る予想なのか。また、予算の裏づけがあるのか確認したいです。

大学進学を目指して、かなりの生徒が市外に出ているとなると、普通高校である遠野高校は学力向上に向けた対策が必要となります。

緑峰高校は、全国に発信できる部を創設、育成することも大事です。遠野は、馬の里がありますので乗馬クラブに格上げして、市でも施設と指導者に配慮して取り組むことも大事です。

○澤村一行 教育部長

3人に一人が市外に出ている現状に関しては、アンケートによると母親に進学の相談している生徒が多いことから、生徒もさることながら保護者に対しても、両校の魅力を知らせていただく対策も大事だと考えております。

予算では、当初予算で2,000千円ほど確保しており計画の策定や調査などを行いますが、実行する際は、補正予算等で対応していきたいと考えております。

また、これまで取り組んだことがない部分として、中学校と高校の校長先生方による中高校長会議を設置し、学力向上等に協議を進めているところです。

遠野高校では、学力向上、社会人として生きて行く力を身に付けさせる取り組みも進めるとのことです。

緑峰高校のクラブ活動では、空手、そして、馬の里と連携して馬事研究会を強化していきたいとの意向です。遠野市が持つ環境をアピールして取り組んでいきたいと思っております。

サッカーや馬関係で、県外からの問い合わせもありますので、学区外の入学や高校の魅力化向上について、明日、県に要望いたします。

○佐々木國允 委員

ホームページを活用して全国に発信するとありますが、いつごろの予定ですか。

○澤村一行 教育部長

両校のホームページの見直しをしており、本市では、両校とリンクをはりながら両校を応援するような対策をとりたいと思っております。10月前には実現したいと考えております。

○佐々木國允 委員

猶予は2年だと思っておりますので、入試前と言いますか早めの対策が大事です。

県外入学となると、寮とか下宿の受け入れ体制の準備が整ってからの発信でないといけないと思っております。早めの対策が大事ですし、また、できることは協力したいと思います。

21ページには、人材育成に関しての記述がありますが、これは、子育てするなら遠野としてスタートしていますので、社会に出るまでの一連の流れで人材育成をいくことが必要です。そうなりますと、なりたい自分になるのだという部分を目指した、学校給食を取り入れた。食と生活のあり方をしっかり教え、人材育成を進めてほしいと思っております。

○澤村一行 教育部長

子どもたちは、将来の遠野の地域経営を担っていく貴重な人材ですので、遠野市としても、高校再編のピンチを地域人材育成のチャンスにつなげるよう努力したいと思います。

○佐々木弘志 委員

基本的には、当事者である高校がどのようなスタンスで取り組むかが大事です。まわりでは、これ位していますと言っても、当事者が明確に意思表示をしていただかないと難しい面がありますので、両校との連携を大事にしてください。

例えば、進学とか、部活で全国大会に出場とか、そういったものが一つの目安になるかと思えますので、それに対し、高校がどのような取り組みをしていくのかをきちんと出してください。よろしくお願いいたします。

○澤村一行 教育部長

高校の先生方と協議を進めております。各部の活躍なども、もっとPRしていきたいと思えます。

○千葉和 委員

高校から遠い地域には、交通費、下宿費の助成とかも大事だと思います。

○澤村一行 教育部長

広く検討したいと思います。

(3) 市役所本庁舎整備事業について

○臼井悦男 会長

それでは、市役所本庁舎整備事業について、説明をお願いします。

○千田孝喜 まちづくり再生担当部長兼本庁舎建設室長

*下記資料を説明(約3分)

・市役所本庁舎整備事業について(報告資料 No. 3)

○臼井悦男 会長

ありがとうございました。質問等ございませんか。

(1)から(3)までの部分でも結構です、よろしいですか。

それでは、これまでの報告は、了として、次に進みます。

7 審議

(1) 第1次遠野市総合計画後期基本計画(H23~27)まちづくり指標実績について

(2) 遠野スタイル創造・発展総合戦略の重要行政評価指数(KPI)について

○臼井悦男 会長

それでは、次第7の審議に入ります。

それでは、説明願います。

○鈴木英呂 企画総括課長

審議事項の(1)と(2)は、関連する事項ですので、一括して説明させていただきます。

なお、平成27年度実績において、6ページですが、「指標 No. 134 経営改革大綱実行計画の達成率」は、82.6%でしたので、上の欄の「達成率が80%以上90%未満の指標」に入ります。よって、11指標が12指標に増えますし、逆に、「達成率が70%以上80%未満の指標数」は9指標から8指標に減ります。

このことは、後期5カ年の実績の6ページも同様に訂正願います。

*下記資料を説明(約16分)

- ・第1次遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標実績について(審議資料No. 1)
- ・遠野スタイル創造・発展総合戦略の重要業績評価指数(KPI)について(審議資料No. 2)

○臼井悦男 会長

ありがとうございました。

では、皆さん、ご発言願います。

○菊池光 委員

私は仙台市出身で、子どもが3人います。遠野は、素晴らしいまちだと思います。農地もあり、人もよく、高校も2つあります。緑峰高校を卒業した生徒には、農業をしたい子がいると思います。企業、農家が協力しあい、第3セクター等の会社を設立し、生徒の受け皿をつくることのできないかを検討してほしいと思います。農業に従事する人が減少している中、受け皿づくりが大切だと思います。

○古川憲 農林畜産部長

馬では畜産振興公社、林業では森林組合、野菜等では企業で取り組んでいる会社もあります。就職の面では、ご意見のとおりかと思いますが、3セクを設立するのは、難しい面がありますが、検討したいと思います。

○三浦芳昌 副会長

観光は、「見る」「食べる」「感じる」の3つの柱で成り立っていると思います。『遠野物語』だけでは難しいので、これからは、感じるという面では、登山や釣りなど自然を相手にするお客さんの対応が大事です。オートバイや自転車のお客さんも増えつつあります。遠野であれば、このようなことも可能です。

このような人数を観光客数に入れてよいのか、あるいは、アウトドアは別にするのかは、考えていかなければなりません。こういった2次的な部分でお客さんと呼んで、入り込み数の増を図っていくことも大事だと思います。

○大里政純 産業振興部長

色々な方が遠野市を訪れている中、入り込みをどのように把握するかは、難しい面があります。入場料が必要なところは、簡単に人数を把握できるのですが、カッパ淵、高清水などの自然景観は、把握しきれいていませんので、把握する方法を考えなければなりません。

ご意見のとおり、各種ニーズにそって呼び込めるような工夫をしていきたいと思います。

○三浦芳昌 副会長

高速道路ができましたが、自転車はもちろん、オートバイも国道を通ってくる方が多いかと思しますので、道路対策も大事です。

○菅沼隆子 委員

指標 No. 100 の「中学生・高校生の海外派遣数」は、未達成ですが、中学生は人気があり参加できない生徒もいる状態です。高校生の派遣が中止になっているため、未達成になっているもので、参加者が集まらないわけではありません。

高校生に関しては、来年1月に派遣することで面接等を行っておりますので、次年度は、達成になるかと思します。

○佐藤由美 オブザーバー

指標 No. 41 の「医師の確保数」が未達成となっています。お医者さんの偏在は、難しい問題だと思いますが、若い行員から、産婦人科がなくて心配との声もあります。大変なことは承知

しておりますが、医師の確保は、子育てするなら遠野、そして出生率の向上にもつながるかと思えます。

○菊池永菜 健康福祉部長

医師の確保は、県立遠野病院と連携して進めておりますが、なかなか思うように進んでおりません。

産婦人科の部分では、県内の再編が間もなくありますので、遠野市に地域周産期医療センターの誘致をしたいと思えます。産婦人科医にお会いしても、来ていただける状態になっておりません。

県に対し、昨日ですが、このことを要望しております。

遠野に産後ケアセンターをつくるような計画を出したいですし、妊産婦を安心して病院に届けるような機能を遠野市に確立する要望をしておりますが、さらに進めていきたいと思えます。

○臼井悦男 会長

この他、ご意見ありませんか。

意見が、ないようですので、この内容でよろしいですか。

(「良い」との声あり)

では、審議会として了といたします。

なお、皆さま、色々な思いをお持ちだと思いますので、引き続き、担当者にご意見を寄せていただき、皆で良いものに仕上げ、良い方向に向かっていきたいと思えますので、よろしくお願ひします。

8 その他

○臼井悦男 会長

それでは、その他に入ります。

事務局から、何かありましたらお願ひします。

○鈴木英呂 経営企画部次長兼政策推進総括課長

昨年度は、新しい総合計画の策定にご協力をいただき、ありがとうございました。次回の審議会ですが、定例の審議会は、来年の5月頃を予定しております。

しかしながら、共通優先方針である「産業振興・雇用確保」「少子化対策・子育て支援」に係る案件で緊急的に臨時的な審議会を開催する場合がありますので、よろしくお願ひします。

○臼井悦男 会長

ありがとうございます。

それでは、以上で進行を事務局にお返しします。ご協力ありがとうございました。

9 開会

○菊池文正 経営企画部長

臼井会長、大変ありがとうございました。

当日配布した資料が4種類ありますので、よろしくお願ひします。

ここで、市長から総括してあいさつを申し上げます。

○本田敏秋 市長

今日は、貴重なご意見をいただきました。これまでの10年をこれからの10年に向けて、強かに、そして、市民の皆さまと一緒に力強く、遠野市の自然、歴史、文化、風土といったものを、しっかりと地盤を固め発信していくことが、これからの10年になろうかと改めて思っているところです。

あと2年少々で、東北横断自動車道釜石秋田線が全通します。同じく、国道340号の立丸第

1、2トンネルが貫通し供用開始となります。素通りになる遠野では、ありません。必ず、遠野を拠点に、内陸、沿岸との中における遠野の役割をしっかりと位置付けなければなりません。そのために、環境整備もしてまいりました。皆様のご協力をいただきながら、何とか進めることができました。

小さな拠点という言葉があります。それを道路、情報通信のネットワークに、そしてそこに、フェイスツウフェイスとしてのマンパワーがきちんと加われば、大きな拠点となります。その大きな拠点が、岩手県の地図を見た場合、遠野だと。

4月に、11地区に地区センターを配置しました。所長、主事、活動専門員の3人体制としました。マンパワーを生かすために、少子高齢化の中にあり、安心安全の役目を皆さまと一緒に果たしていくとなれば、消防団、婦人消防協力隊の皆さまとの連携が大事です。

地域ぐるみでの子育ても大きな課題であります。

11地区の地区センターを中心に、子育て、安心安全、高齢化社会における認知症対策なども進めなければなりません。改修した市民センターを拠点に進めたいと思いますので、皆さまのさらなるご理解とお力添えをお願いし、御礼の言葉といたします。

○菊池文正 経営企画部長

以上をもちまして、平成28年度第1回遠野市総合計画審議会を終了させていただきます。本日は、大変ありがとうございました。